

## 施設の概要（代替事業）

### ① 岸城神社 岸和田市岸城町 1 1 - 3 0



岸城神社の境内地は当時の岸和田城主、小出秀政によって隣邑に鎮座していた牛頭天王と、岸和田城築造以前に当地で祀られていた天照大神と八幡神が併せられ成立しました。

その後、天照大神は、天照太神小社として別の境内(後の神明門付近)に祀られ、牛頭天王と八幡神とは同境内に祀られて御宮と呼ばれておりました。

また、同境内には宮寺・日光寺が置かれていました。

しかし、慶応四年に出された神仏判然令に伴い、宮寺・日光寺は廃寺となり、牛頭天王社と八幡社を合祀し、岸城神社と改称されました。

この頃、それまで神明門にあった神明社は岸城神社境内へと移され、現在に至ります。

### ② だんじり会館 岸和田市本町 1 1 - 2 3



全国に知られている「岸和田だんじり祭」は江戸時代中期に始まり、300年の伝統を誇ります。岸和田だんじり会館はそんな祭の長い歴史や迫力を目の当たりにできる施設です。館内のイベント広場では、実物のだんじりと27面のマルチスクリーンによる映像で祭の熱

## 施設の概要（代替事業）

気と迫力をリアルに再現しています。天保12年（1841）に製作され、幕末から平成まで実際に町内を曳航されていた旧紙屋町のだんじりも展示されています。紀州街道の古い町並みを再現し、だんじりの原点をわかりやすく紹介しているコーナーや祭の花形である大工方の気分を味わえる体験コーナー、祭りの仕組みやだんじりの飾り、だんじりばやしで使われる楽器類などを間近で見られるコーナー、だんじり大工と彫物師の匠の技を解説する技・匠資料館など見どころがいっぱいです。

### ③ 五風荘 岸和田市岸城町18-1



大阪府岸和田市にある近代和風建築と回遊式日本庭園です。岸和田城二の曲輪の「新御茶屋」の跡地に旧寺田財閥当主家別邸として建設されました。1998年に国の登録有形文化財に登録されたものの、指定管理者制度導入を機に、2008年岸和田市指定有形文化財に指定されました（これに伴い国の登録は抹消）。正門は、奈良東大寺塔頭中性院表門を移築したものです。

### ④ 岸和田城 岸和田市岸城町9-1



伝承では、建武新政期に楠木正成の一族、和田高家が築いたといわれています。天正13年（1585）、羽柴秀吉は紀州根来寺討滅後、叔父小出秀政を城主とし、秀政によって城郭整備され、天守閣もこの時に築かれました。小出秀政・吉政・吉英、松平(松井)康重・康映をへて寛永17年（1640）、岡部宣勝が入城(6万石、のち5万3千石)。以後、明治維新まで岡部氏13代が岸和田藩を統治しました。

## 施設の概要（代替事業）

天守閣は文政10年（1827）に落雷で焼失、維新期には櫓・門など城郭施設を自ら破壊したため、近世以前の構造物は堀と石垣以外には残存していません。

現天守閣は、昭和29年に建造された3層3階の天守です。本来は5層天守であったことが絵図などで確認されています。城跡は昭和18年に大阪府指定史跡となりました。

平成19年4月1日からは、観光施設として岸和田城ウエディングをはじめ、多聞櫓・隅櫓をギャラリーや各種イベントに使用するなど、観光振興の拠点として活用しています。

### ⑤二の丸広場 岸和田市岸城町7-22

担当：西川 将平・古谷 望



市の歴史や文化や観光に関する情報の収集ができます。また、散策に疲れた時は一休みでき、岸和田城周辺の観光に大変便利です。観光情報や地元の特産品の紹介・販売を行うと同時に、館内では、地元の産物を生かした本格ピザやパスタ、ジェラートなどもお楽しみいただけます。